

11/6
(日)

自転車レースなどにぎわう だてなフェス開催

月館運動場

event

だて青年会議所主催で行われた「だてなフェス」は「ランバイク」レースや音楽ステージのほか、地元のうまいものを集めた屋台が並びました。レースでは2歳から7歳の子どもたちがコースを元気よく駆け抜けました。会場隣の旧小手小学校は、自転車に乗る人を対象とした宿泊施設に改修中で、自転車をきっかけに来訪者が増えることが期待されています。



レースを見た地元の女性は「月館にたくさんの人が来てくれるとうれしい。」と話していました。

10/28
(金)

笑顔いっぱい 子育て支援センター合同運動会

保原総合公園フットボール場

event

親子の交流促進や育児相談の場として開所している子育て支援センター。市内6つのセンターが合同で「えがおいっぱい!のびのびミニ運動会」を開催し、50組あまりの親子が参加しました。運動会では音楽に合わせて体操したあと、親子で参加できる競技を行いました。コロナ禍で3年ぶりのイベントとなりましたが、晴天にも恵まれ、たくさんの笑顔が見られ、家庭保育を行う親子のリフレッシュの機会となりました。



親子の交流促進や育児相談の場として開所している子育て支援センター。市内6つのセンターが合同で「えがおいっぱい!のびのびミニ運動会」を開催し、50組あまりの親子が参加しました。運動会では音楽に合わせて体操したあと、親子で参加できる競技を行いました。コロナ禍で3年ぶりのイベントとなりましたが、晴天にも恵まれ、たくさんの笑顔が見られ、家庭保育を行う親子のリフレッシュの機会となりました。

10/22
(土)

手作り作品にほっこり モノ作りびとフェア開催

つきだて花工房

event

つきだて花工房の「モノ作りびとフェア」には、近隣市町村を中心に20店舗あまりが出店しました。木工製品や布製品、アクセサリなど、作家自慢の作品がずらり。このうち、布で作られた地藏様手に取った女性は「一人一人顔が違って可愛い。手作りならではのですね。」と笑顔を見せていました。今年は例年よりも規模を縮小しての開催でしたが、来場者は世界に一つしかない手作り作品との出会いを楽しんだ様子でした。



今年は例年よりも規模を縮小しての開催でしたが、来場者は世界に一つしかない手作り作品との出会いを楽しんだ様子でした。

10/20
(木)

自慢の秋の味覚いかが 首都圏で伊達の農産物をPR

東京都板橋区

event

10月20日㊥～24日㊦の5日間、イオンスタイル板橋の店頭で伊達市の農産物をPRしました。県内産出額第1位のぶどうや県内産出額第2位の洋梨を中心に、桃、りんご、きゅうりなど、伊達市自慢の農産物が並びました。「粒が大きくておいしいぶどうですね」「福島は今の時期でも桃があるんですね」などの感想が聞かれました。市では今後も伊達市の農産物を広めるために、県外でのPRなどに取り組みます。



市では今後も伊達市の農産物を広めるために、県外でのPRなどに取り組みます。

11/10
(木)

戦争の悲惨さ胸に恒久平和を願う 伊達市戦没者追悼式を開催

JAふくしま未来斎場ほばら

ceremony

式では、遺族会を代表し伊達町会長の山崎正伸さんが「一柱でも多くの遺骨が祖国に帰還がかなうことを強く望んでいます」と哀悼の言葉を述べました。須田市長は「戦争の悲惨さ、平和の尊さを未来へと語り継いでいきます」と述べ、戦争で犠牲になった方々を悼みました。規模を縮小し3年ぶりの開催となりましたが、参列した人たちは、戦争の悲惨さを語り継ぐ決意を新たに、戦没者の冥福を祈り、静かに手を合わせていました。



規模を縮小し3年ぶりの開催となりましたが、参列した人たちは、戦争の悲惨さを語り継ぐ決意を新たに、戦没者の冥福を祈り、静かに手を合わせていました。

11/3
(木)

梁川高校最後の公開文化祭 「梁華祭」にぎやかに開催

梁川高校

event

来年度、保原高校と統合し伊達高校となる梁川高校にとって、最後の文化祭が行われました。射的やヨーヨー釣り、かたぬき、スーパーボールすくいなど、おなじみの屋台が並びました。アニメのキャラクターに扮した生徒らがお客さんを呼び込み、各クラスとも趣向を凝らした屋台で来場者をもてなしました。最後の文化祭とあって、恩師や卒業生、近所に住む人などさまざまな人が訪れ、生徒たちに温かい声をかけていました。



最後の文化祭とあって、恩師や卒業生、近所に住む人などさまざまな人が訪れ、生徒たちに温かい声をかけていました。

10/27
(木)

元気づくり、まずは自分から 考案者が体操のコツを伝授

霊山中央交流館

lecture

元気づくりシステムの考案者である(一社)元気づくり大学の^{おおひらとしひさ}大平利久学長が、市内5会場で講演しました。元気づくり会の「まいまい体操」を実践しながら、力を入れる部分や体の動かし方などを健幸づくり推進員に伝授。「自分が元気だと周りが元気になり、地域が元気になる。健幸都市を皆さんから広めましょう。」と伝えました。参加した鈴木扶美子さんは「久しぶりに動いて気持ちがよかったです。元気づくりに取り組みたい。」と話しました。



参加した鈴木扶美子さんは「久しぶりに動いて気持ちがよかったです。元気づくりに取り組みたい。」と話しました。

10/22
(土)

「白井市ふるさとまつり」で 伊達市をPR

千葉県白井市

event

友好交流都市協定を締結して5周年を迎えた千葉県白井市で、3年ぶりに開催された「白井市ふるさとまつり」に須田市長が参加しました。市長は伊達政宗の甲冑を着用し、ステージで伊達市の魅力を紹介したあと、来場者にパンフレットを配りながら、伊達市の特産品などをPRしました。伊達市のブースでは、旬のシャインマスカットやピオーネなどを販売し、全て完売。伊達の果物は白井市の皆さんにも大好評でした。



伊達市の果物は白井市の皆さんにも大好評でした。